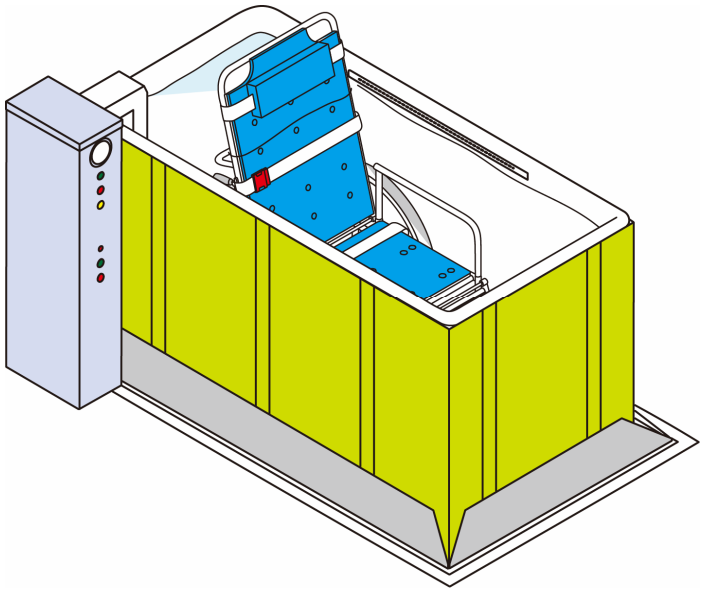
SAKAImed

取扱説明書

浴槽昇降型

車椅子式入浴装置

BSW－130



＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-005⑦M1

もくじ

安全上のご注意 …… 3

各部の名称 …… 6

ご使用になる前に …… 8
- 入浴者の制限 …… 8
- 電源 …… 8
- 入浴剤の使用注意 …… 8
- 薬液について …… 8

浴槽部操作方法 …… 9
- 給湯について …… 9
- 排水について …… 9
- 浴槽の上昇・停止・下降について …… 9

車椅子の操作方法 …… 10
- ブレーキについて …… 10
- 肘受けについて …… 10
- 安全ベルト …… 10
- リクライニングについて …… 11
- 車椅子の降り方について …… 12
- 車椅子上の作業手順と注意点 …… 12

入浴手順 …… 13

お手入れの仕方 …… 14

このようなときには …… 15

機器の保守・点検について …… 16

保証とアフターサービス …… 17

仕 様 …… 18

用途

本装置は、介助を必要とする入浴者を対象に入浴用車椅子に座ったままの状態で入浴できる入浴装置です。

特長

● 浴槽昇降方式

入浴者を乗せた車椅子を台板の上に固定し、入浴者自体が上下しないので、安心して入浴できます。

● 掘り込み構造

操作部以外の駆動部を掘込内に格納した構造のためすっきりしたレイアウトで、浴槽下降時は浴室を広々と使えます。また、入浴中の介助が四方向からきめ細くできます。

● ゆとりの浴槽

入浴中のリクライニングが可能なゆとりある浴槽。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・その他

⚠危険

座位の保てない人は入れない
座位が保てないと姿勢が保持できず、水没する危険があります。

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない
正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

サービスマン以外は、給湯水の接続を行わない
正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

⚠注意

使用電圧は 3 相 200 V ±5%の範囲内で使用する
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

この製品は、一部に天然ゴムを使用しています
かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

使用後は、必ず製品の電源を切る
事故を防止します。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

排水ポンプ及びフロートスイッチは、常に点検する
故障していると駆動部が水没する恐れがあります。また、排水マスは常に清掃し、ポンプが目づまりしないようにしてください。

給湯・昇降

⚠ 警告

給湯や差し湯は、温度計と手で必ず湯温を確認
温度が高いとやけどをする恐れがあります。特に浴槽内に入浴者がいる状態で給湯や差し湯をする場合には、入浴者にかからないよう十分注意してください。

浴槽の上昇，下降時には、絶対にあおり板には近づかない
あおり板に足を乗せたまま浴槽を昇降させると、足を挟まれる恐れがあります。

手足が台板からはみ出ていないことを確認
昇降時、挟み込みの恐れがあります。

入浴中の入浴者の状態に注意
水没等がないように、常に看視してください。入浴者に異変があったら、すぐに入浴作業をやめて、適切な処置をしてください。

⚠ 注意

浴槽を必ず上げて給湯する
下がったままでは、給湯量や湯温の確認ができません。

専用の入浴用車椅子（BSW-130C）を使用する
他の車椅子では連結されず、水没したり浮力で転倒する恐れがあります。

車椅子での作業

⚠ 警告

移乗のときは、車椅子後部の浮き上がりに注意
座面前方に浅く座ると、車椅子後部が浮き上がり、入浴者が落下する恐れがあります。

入浴者をフットレストの上に立たせない
車椅子後部が浮き上がり、非常に危険です。

背もたれを大きく倒したとき(洗髪・洗身作業など)は転倒に注意
頭部に力をかけたり、足を持ち上げたりすると転倒する恐れがあります。

入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行い、洗身時はベルトを使用してください。

⚠ 注意

車椅子との接触に注意
入浴者の移乗のときや、車椅子から立たせた後に車椅子を移動させるときに、車椅子との接触で思わぬけがをする場合がありますので注意してください。

車椅子を移動するときは、周囲に注意
周囲に他の入浴者や障害物がないことを必ず確認し、浴槽や壁にぶつけないようにしてください。

車椅子の移動は、ゆっくりと
入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。また、段差を乗り越える場合は、一旦停止してから前輪、後輪とキャスターを持ち上げるように押して、通過してください。

車椅子を移動するとき、介助者の足先に注意
後方へ引くように移動すると、介助者の足先が椅子フレームの下側に入り込む場合がありますのでご注意ください。

⚠ 警告

車椅子に乗せたら、肘受けを必ず使用
使用しないで、洗身・入浴及び移動作業をすると、落下しけがをする恐れがあります。

車椅子に乗せたら、必ず３本の安全ベルトを使用する
ベルトをしなかったり、ベルトの固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない
移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

皮膚の弱い入浴者の場合接触部分にタオル等を使う
皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット角部等への軽微な擦れで皮膚がけがする恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

リクライニング操作は、ゆっくりと
背もたれを勢いよく持ち上げると、車椅子後方が浮き上がり、前に転倒する恐れがあります。

リクライニング操作後はロックを確認
背もたれを倒したときは、リクライニングレバーがしっかりロックされていることを確認してください。

車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意
キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒する恐れがあります。

車椅子を停止しているときは、必ず両車輪にブレーキをかける
車輪にブレーキをかけないと、車椅子を移動した後や移乗・入浴・洗身・清拭時などに、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止させない
滑って転倒する恐れがあります。

台板のキャッチャーにロックしていること及びキャスターのロックを確認
ロックが不十分だと、車椅子が台板上を動いて、挟み込などのけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

操作部へは水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

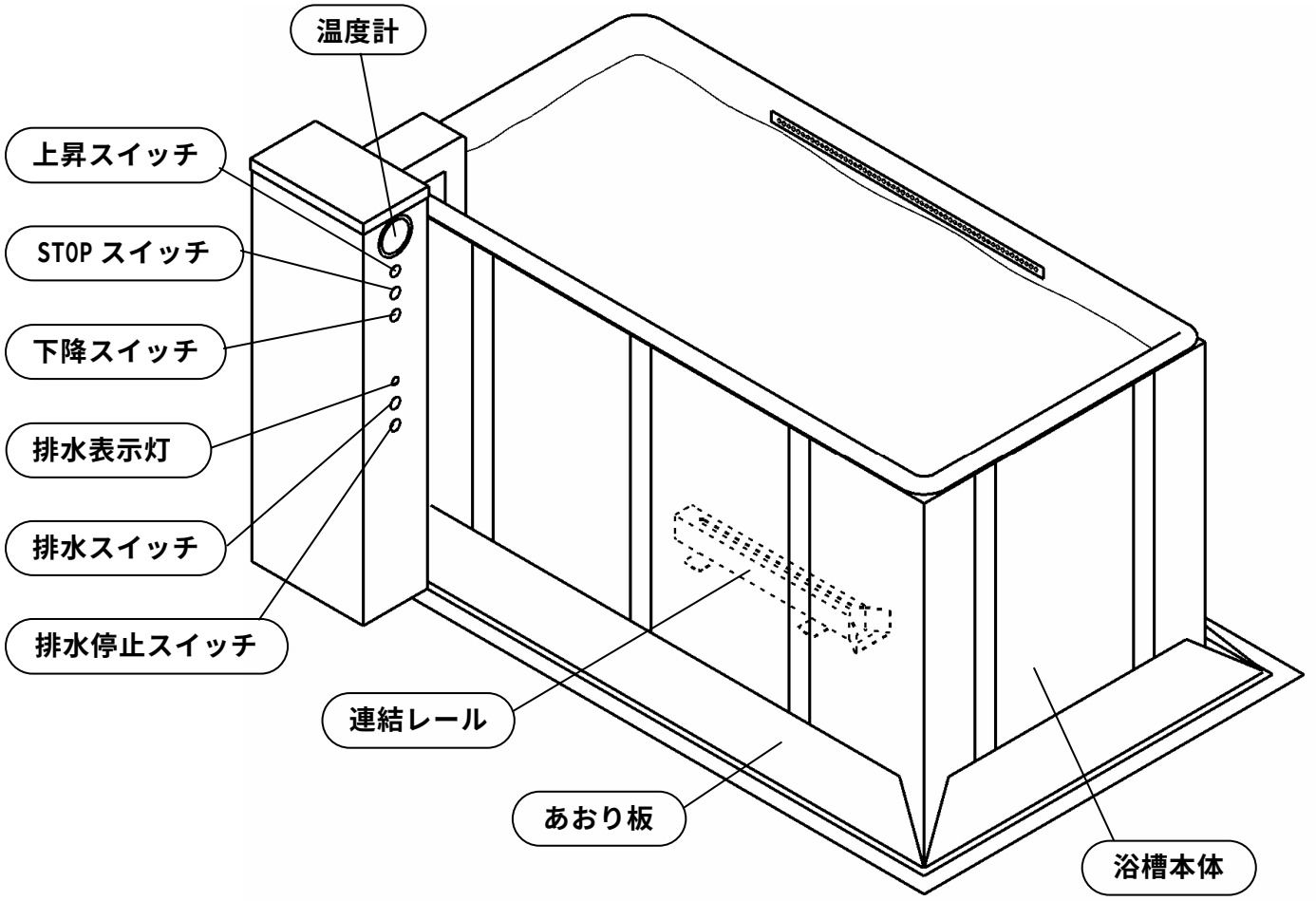
安全ベルトの損傷に注意
ほころび始めたり、切れかかってきたり、マジックベルトの接合力が弱くなってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

マットの損傷に注意
古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。

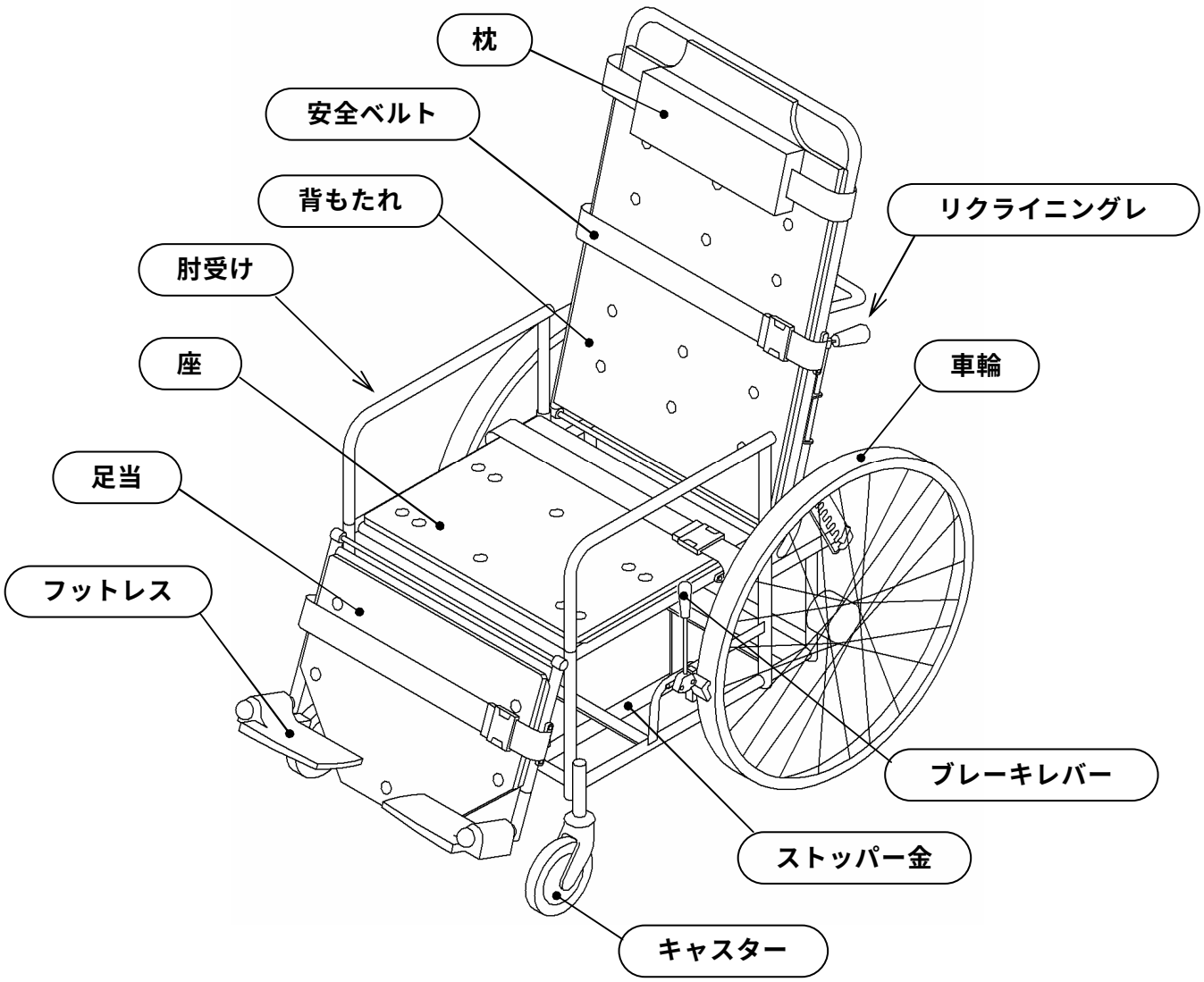
専用の入浴用車椅子（BSW-130C）を使用する
他の車椅子では連結されず、水没したり浮力で転倒する恐れがあります。

各部の名称

浴槽　（図は BSW-130B）



車椅子　(BSW-130C)



✸ 構成

- 車椅子式入浴装置　：BSW-130

浴槽	：BSW-130B/BL*	･･･････1台
入浴用車椅子	：BSW-130C	･･･････2台

*BL は B の勝手反対型

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.16 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

入浴者の制限

本製品は、座位が保てる人を対象にしております。椅子に座った状態を自力で維持できない方や、椅子の上で前方や左右に極端に寄りかかった状態や、片寄って座った状態となる方は、本製品には入浴できません。

> ⚠ **危険　座位の保てない人は入れない**
> 座位が保てないと姿勢が保持できず、水没する危険があります。

電源

電源の ON/OFF は分電盤内のブレーカーの入り/切りで行ってください。

入浴剤の使用注意

入浴剤は使用上の注意をよく読んで、金属・ゴム（本製品構成部品）及び浴槽に悪影響を及ぼさない製品を使用してください。

薬液について

薬液で浴槽水を殺菌する場合は、**次亜塩素酸ナトリウム（6%溶液）**を使用してください。他の薬液を使用したり、他の薬液と混ぜて使用しないでください。

（入浴終了後の浴槽の殺菌方法は P.14 参照）

＜浴槽水の殺菌＞

◎入浴作業 1 時間毎を目安に実施してください。

1. 満水時に**塩素 15cc** の薬液を浴槽へ投入します。（満水の湯量、約 1195ℓに対して、0.6ppm の塩素濃度になります。－当社推奨値－）
   ※入浴者が入っていないのを確認してください。
2. お湯をよく撹拌します。
3. 入浴者を浴槽に入れます。
   ※入浴中には塩素を投入しないでください。

> ⚠ **危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品と一緒に用いない**
> 人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

浴槽部操作方法

給湯について

1　給湯を始める前に、浴槽周囲の安全及び、排水栓が閉じていること（排水表示灯が消灯）を確認後、浴槽を上昇させます。
2　浴室内に設置されている給湯バルブを開くと給湯されます。
3　浴室内に設置されている給湯ミキシングで給湯温度を調整します。
4　操作部の温度計は、浴槽内のお湯の温度を示します。

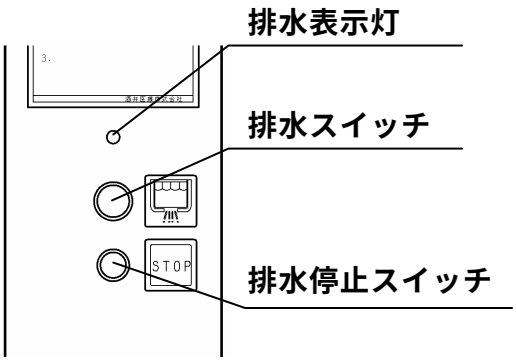
⚠警告　給湯するときは、温度計と手で必ず湯温を確認
温度が高いとやけどをする恐れがあります。

⚠注意　浴槽を必ず上げて給湯する

排水について

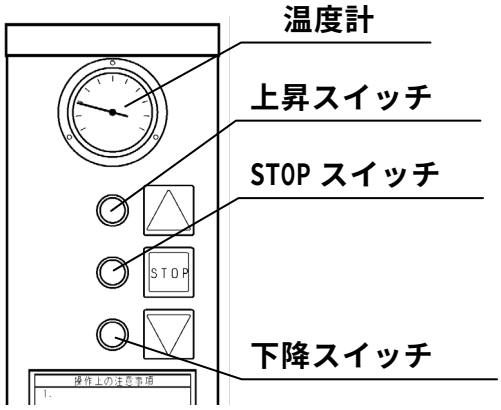
1　排水スイッチを押すと排水栓が開き、排水表示灯が点灯します。
2　排水停止スイッチを押すと排水栓が閉まり、排水表示灯が消灯します。

ご注意　電源がＯＮになっていないと排水スイッチは作動しません。



浴槽の上昇・停止・下降について

1　上昇スイッチを押すと浴槽は上昇し、上限で自動停止します。
2　下降スイッチを押すと浴槽は下降し、下限で自動停止します。
3　STOP スイッチを押すと浴槽は、その位置で停止します。



車椅子の操作方法

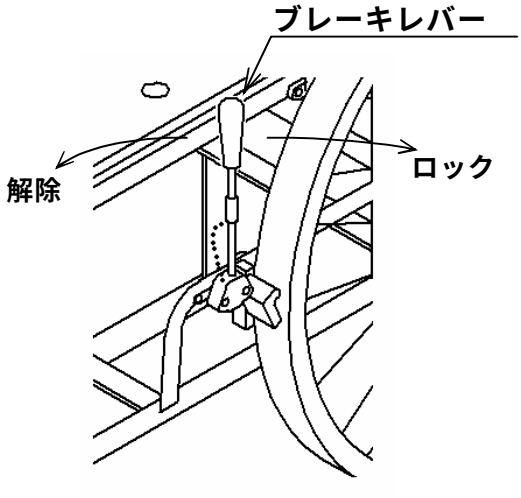
ブレーキについて

車椅子は平らで安全な床面に停止させ車椅子側面のブレーキレバーで車輪のロックをかけて移乗・洗身等の作業をします。

ブレーキレバーは入浴者の乗り降りときに邪魔にならないように握り部分が取り外せます。

1　ブレーキレバーを車輪側に引くとブレーキが掛かり、車輪がロックされます。

2　ブレーキレバーを車輪から反対に引くとブレーキが解除されます。



警告　停止しているときは、必ず両車輪にブレーキをかける

ブレーキをかけていないと、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

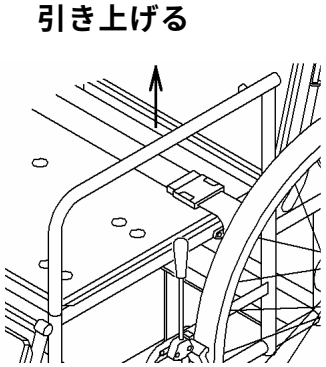
傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止させない

滑って転倒する恐れがあります。

肘受けについて

左右についている肘受けは、上に引き上げることで取り外す事が出来ます。

入浴者が移乗した後は、必ず肘受けを付けて使用してください。



警告　肘受けを必ず使用

使用しないで、洗身・入浴及び移動作業をすると、落下しけがをする恐れがあります。

安全ベルト

車椅子へ入浴者を移乗させたら安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ、長さを調節します。腹部、胸部と下肢部の 3 か所のベルトを着用して調節してください。

⚠警告　車椅子に乗せたら、必ず 3 本の安全ベルトを着用する

ベルトでの固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

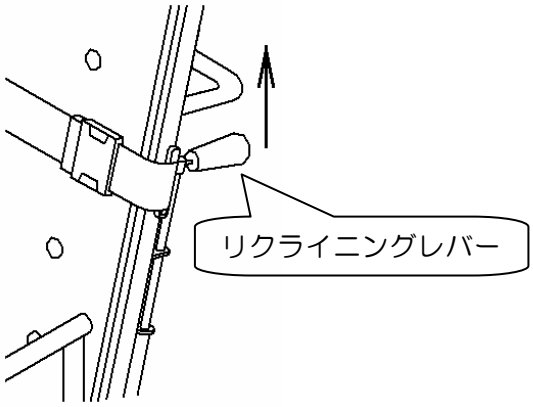
ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

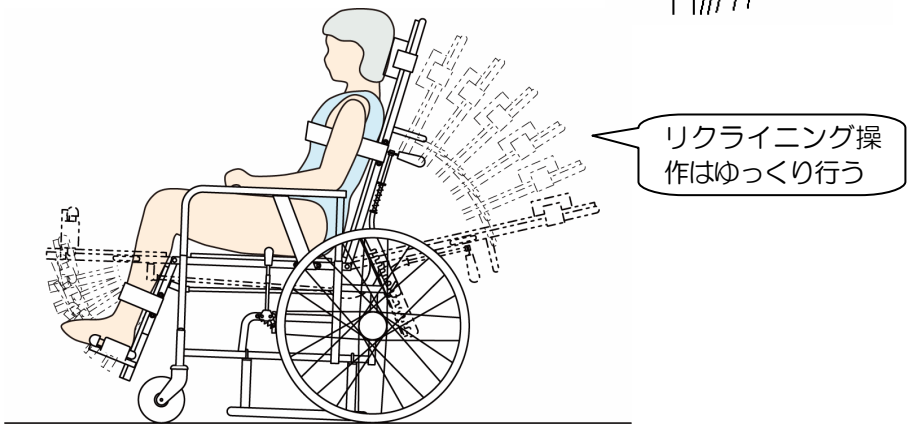
⚠注意　安全ベルトの損傷に注意

リクライニングについて

車椅子のリクライニングは、座位から臥位まで７段階に調節できます。

リクライニングレバーを引き上げ、背もたれを動かします。調節した後はリクライニングレバーを必ず戻してロックします。また、背もたれを倒すと連動して足当てが動きます。





⚠警告　・背もたれを大きく倒したとき(洗髪・洗身作業など)は転倒に注意

頭部に力をかけたり、足を持ち上げたりすると転倒する恐れがあります。

・リクライニング操作は、ゆっくり行う

・ロックを確認

背もたれを倒したときは、リクライニングレバーがしっかりとロックされていることを確認してください。

車椅子の降り方について

入浴者を車椅子から降ろす場合は、次の方法があります。

1　肘受けを外して、入浴者の足を左あるいは右側方へ回して介助しながら立ち上がらせる。

2　車椅子を安定させるため、前輪２輪のキャスターがフットレストに近づくように車椅子を後方へ動かしキャスターの首を振ってからフットレストをはね上げて、前方より介助しながら立ち上がらせる。

⚠ 警告　・入浴者をフットレストの上に立たせない
・前方から降ろすときは、車椅子後部の浮き上がりに注意

車椅子上の作業手順と注意点

入浴用車椅子へ入浴者を移乗させるとき

1 入浴用車椅子を平らな安全な床面に停止させ車輪にブレーキを掛けます。

2 移乗はリクライニングを起こした状態にして行います。やむを得ずリクライニングを倒した状態で移乗する場合は、頭部側へ転倒しないように十分に注意します。

3 移乗する側の肘受けを外します。移乗と反対側の肘受けは、そのままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。

4 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、肘受けを元に戻してからリクライニング操作と車椅子の移動をします。

入浴用車椅子上で洗髪・洗身を行うとき

1 必ず車輪のブレーキが掛かっていることを確認します。

2 入浴者の状態に十分注意しながらリクライニング角度をゆっくり調整します。
（P.11「リクライニングについて」参照）

3 頭部に無理な力をかけたり、足を持ち上げたりすると転倒や落下する恐れがあります。

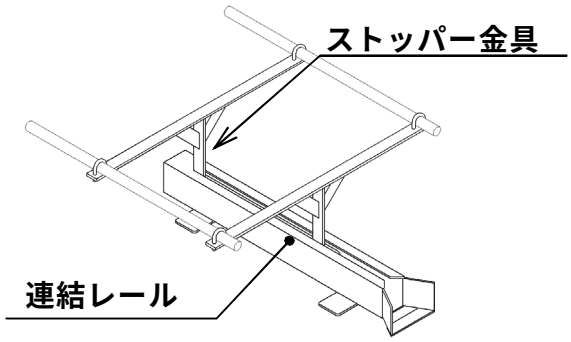
4 狭い入浴用車椅子上での体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら注意深く行います。

5 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

⚠ 警告　入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い車椅子上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

入浴手順

1　車椅子に付いているストッパー金具を浴槽の連結レールに合わせて、浴槽内に車椅子を完全に入れます。
2　車椅子のブレーキをかけます。
3　入浴者及び、周囲の安全を確認後、浴槽を上昇させます。
4　入浴時間終了後浴槽を下降させます。
5　浴槽内から退出させ、車輪にブレーキを掛けて清拭や移乗をします。



警告　・手足が台板からはみ出ていないことを確認

昇降時、挟み込みの恐れがあります。

・入浴中の入浴者の状態に注意

水没等がないように、常に看視してください。

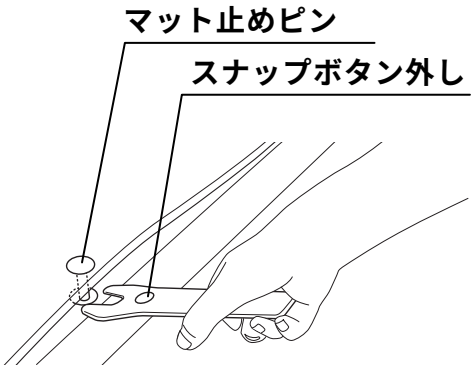
・浴槽の上昇，下降時には、絶対にあおり板には近づかない

足を挟まれる恐れがあります。

注意　専用の入浴用車椅子（BSW-130C）を使用する

お手入れの仕方

- 操作スイッチは、雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- ステンレス部は、水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭きとってください。
- 洗浄時は、操作部や駆動部には水をかけないようにしてください。
- 椅子のマットを外す場合には、マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むとマット止めピンが外れます。（右図参照）マットを取り付ける場合には、マット止めの穴にピンを差し込んで押してください。



⚠注意　マットの損傷に注意

- ポンプの目詰まり防止のため排水マスを清掃してください。

⚠注意　排水ポンプ及びフロートスイッチは、常に点検する

- **浴槽殺菌方法**（塩素濃度　約 1ppm の殺菌）

◎毎日の入浴作業終了後に、実施してください。

	作　業　手　順	備　　考
1	浴槽に 水(湯)を入れる (車椅子を入れて上昇スイッチを押す)	満水近くまで入れます。
2	**塩素 25 cc** を浴槽へ投入	液は**次亜塩素酸ナトリウム６％溶液**。 (満水の水量、約 1195ℓに対して、1ppm の塩素濃度になります。－当社推奨値－) **車椅子に直接、液をかけないでください。**
3	水(湯)をよく撹拌	水(湯)を撹拌し、殺菌します。
4	3 分間放置	
5	下降スイッチを押す	浴槽下降。
6	車椅子を出す	
7	他の車椅子を入れて上昇スイッチを押し、4〜6 を繰り返す	全ての車椅子を同様に殺菌します。
8	排水する	
9	浴槽、車椅子をシャワーで水洗いする	塩素をよく洗い落とします。
10	乾拭きする	
11	電源を切り、室内を換気する	

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
排水栓が閉まらない	電源が入っていない	電源を入れてください
	ブレーカーが落ちている	ブレーカーを上げてください
昇降ボタンを押しても動かない	電源が入っていない	電源を入れてください
	油圧系統のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください
	電気系統のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください
昇降時に異音がする	グリス切れ	最寄りの営業所にご連絡ください
	その他の異常	最寄りの営業所にご連絡ください
給湯をしても浴槽に湯が溜まらない	排水栓が閉まっていない	排水栓を閉めてください
給湯水が一定しない	給湯水の圧力比が使用条件外	圧力比を適正値に調節してください
給湯温度が一定しない	給湯水の圧力比が使用条件外	圧力比を適正値に調節してください
給湯温度が低すぎる、または高すぎる	ミキシング調整不良	ミキシングを再調整してください
	給湯水の圧力比が使用条件外	圧力比を適正値に調節してください

- ご使用中、万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。
- その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
- 給湯，給水の圧力，圧力比等は、浴室に設置されているミキシングの使用条件範囲内でご使用ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

浴槽

区分	点検内容	点検方法
（電源投入前）外観	周囲の障害物の有無	目視
	部品（あおり板、連結レールなど）のガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	浴槽内の汚れまたは、不要物	目視
	操作部からの湯の漏れ	目視
（電源投入後）機能	温度計の温度表示	手を浴槽内に入れて湯が適温であることを確認し、表示と比較
	浴槽の昇降動作	昇降・停止がスムーズであること、異音が発生しないことを確認

入浴用車椅子

区分	点検内容	点検方法
外観	マットの破れ及びマット止めピンのはずれ	目視 （ピンが穴から単に抜け出しているだけのときは押し込んでください）
	安全ベルトのほつれ、バックルの破損	目視
	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し、車輪の摩耗	目視 及び、触って確認
	肘受け・フットレストの緩み、ガタつき	目視 及び、触って確認
機能	キャスターの動き	方向・回転ともスムーズに動くことを確認
	車輪のブレーキ	車輪にブレーキをかけ押しても動かないことを確認
	手動リクライニングのロック	背もたれ部を各段階でロックさせ、力を加えてロックが外れないか確認

保証とアフターサービス

❁ 保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

❁ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
  - ・機種名　：　*BSW-130*
  - ・お買い上げ年月：　　年　　月
  - ・故障状況(できるだけ詳細に)
  - ・住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

❁ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

❁ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

❁ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。
  作動油 / マット(止めピン付) / 安全ベルト / 車椅子脚受けベルト
- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。
  給湯・給水ホース / 排水ホース / 油圧ホース・チューブ / キャスター

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

❁ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

浴槽本体（BSW-130B/BL）

外 形 寸 法			2000(L)×1303(W)×1100(H)mm
有効入浴寸法			1700(L)×800(W)×880(H)mm
電　　源			３相 200Ｖ　50/60 Hz　30Ａ
電 源 入 力			2200VA
浴槽	容　　量		約 1195ℓ
	駆 動 方 法		電動油圧式
	材　質	浴　槽	ステンレス製
		フレーム	スチール製＋塗装
	そ の 他		予備電源 ３相 200Ｖ 15Ａ　アース付 ＡＣ100Ｖ 15Ａ　アース付防水型

車椅子（BSW-130C）

外 形 寸 法	1080(L)×685(W)×1145(H)mm
総　質　量	約 14.5 kg
座 面 高 さ	465 mm
ブ レ ー キ	引きタッグルブレーキ
材　　質	ステンレス製
機能，構成	フルリクライニング（７段階）
付　属　品	スナップボタン外し

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。